

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	PARC (パルク) あしや			
○保護者評価実施期間	2025年11月14日 ~ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	76名	(回答者数)	39名
○従業者評価実施期間	2025年12月22日 ~ 2025年 12月 22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月23日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問時の様子や見立てを少ないタイムラグで共有している。	昨年度の利用者アンケートの意見をもとに、支援実施日から3日以内にメールや電話などで保護者に情報を共有している。	引き続き即時の情報共有と、利用者と訪問先施設に寄り添う相談支援を実施していく。
2	多職種で支援にあたっている。	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、児童指導員が在籍し多職種で訪問、情報共有するようにしている。	情報共有や検討などに様々な職員が参加し、多職種で支援にあたれる強みを活かしていく。
3	訪問先施設の方針等を尊重し、良好な関係を構築している。	訪問先施設の行事や教育方針などを十分に聞き取り、利用児だけでなく集団運営にとってメリットとなるような助言を行うようにしている。	引き続き地域に根ざした事業所となれるよう、ニーズに応じた柔軟な支援ができるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規利用者の受け入れが難しい状況が続いている。	契約者数や訪問する施設が多いため。	地域の他の事業所などとも連携を図り、支援を必要とする人にサービスが届くようにしていく。
2	サービスの内容や流れが形式化されていない部分がある。	利用者のニーズや訪問先施設の状況に合わせたサービスを提供しているため。	事業所の強みである一人一人に寄り添う支援を大切にしながら、より明確で安心して利用していただけるようなサービス提供のあり方を検討し、形式化していく。
3	人材育成を進めていく。	必要とされる知識や専門性が高い。	外部研修にや事業所内での勉強会を増やしていく。